

電業特報編集部・プチ特集 2020.06-1

1年延期から再延期も噂される 2020 東京オリパラ 準備状況はどうなのか？を探るべく湾岸エリアへ ～オリンピック準備の進む江東湾岸地区を行く～

(取材・構成／本紙編集部)

写真1／豊洲市場側から晴海運河越しに選手村を一望。1964 東京の代々木選手村とは趣がまったく違う



☆競技施設が最も集中する江東湾岸地区を訪問

新型コロナウイルス禍の勃発で 2020 東京五輪が 1 年間の開催延期を決定されたのはついこの間、3 月下旬のことだった。

その時点ですでに、新型コロナウイルス禍の収束は正直「先が見えない」状態だった。したがって 1 年間の開催延期をしたところで、果たして開催にこぎつけられるのか否かは、甚だ疑問だったといえる。

国や JOC にしてみれば「そうとでもいうしかない、

苦し紛れの選択」だったことも想像に難くない。そして 1 年間の延期をしても、開催が不可能だった場合には「中止するしかない」というのが、国も民間も含めた大方の反応だった訳だが……。

この原稿を書いている 6 月 16 日の朝になって、大会組織委員会の理事による「ウイルス感染により来夏も開催が危うい場合、再延期も視野に入れるべき」との談話が日刊スポーツ WEB 版から配信された。

その理由として理事は「中止になれば日本や世界の

*本文、後略